感染対策研修会の実施例
吐物処理による汚染の確認

令和5年11月24日に当院で開催した感染対策カンファレンス・訓練で実施した訓練内容を一部ご紹介いたします。
各ご施設での研修開催の一助となれば幸いです。

目標

以下の点を確認できる

1. 吐物による汚染の範囲
2. 吐物処理の方法（訓練では時間制限上、簡素に実施）
3. 処理（床清掃）後の汚染の残りや拡大の有無
4. PPE脱衣後の汚染の状況

手順

(1)吐物の飛散	①模擬吐物を高さ1mくらいからをこぼす
(2)PPE着衣	①ガウンを着用（訓練時の私服汚染防止の為） ②エプロン、手袋を着用
(3)床清掃	①床に散った模擬吐物をペーパータオルで拭きとる ②使用済みペーパータオルを黒ビニール袋に入れる
(4)PPE脱衣	①エプロンと手袋を脱いで黒ビニール袋に入れる ※ガウンは脱がない
(5)汚染の確認	①ブラックライトで汚染状況を確認 ②確認箇所：床、手指、ビニール袋、ガウン、黒ビニール袋表面 模擬吐物をこぼした職員の靴やズボン

訓練では時間の制限があるため、汚染範囲や、清掃・脱衣後の汚染状況を確認することに重点を置いた。

模擬吐物の準備



【材料】
- 水100ml
- 市販のビタミンB剤適量
  （当院の研修では3錠使用）
- とろみ剤（その他片栗粉など）適量



ブラックライトをあてると黄色に光る



【作り方】
1. 水にビタミン剤を入れて溶かす
2. とろみ剤を適量入れる
3. 模したい物によってそれぞれの量を変える

【蛍光剤としてのビタミンB剤の特徴】
- 机や床、シンク、布などの材質についても落ちやすいため、後片付けの負担が少ない
- 黄色く光るため、埃（白色）との区別がつきやすい
- ドラックストアなどで入手が容易
- 安価
- 手洗いチェック用のローションと比較すると光り方がやや弱い

（1）模擬吐物を高さ1mくらいからをこぼす



(3) 模擬吐物の処理(清掃)を行う

(青のガウンは私服汚染防止のため着用)



（5）汚染の確認を行う

床面に汚れが残ってない？



衣服や手首を汚してない？



～付録～

応用編

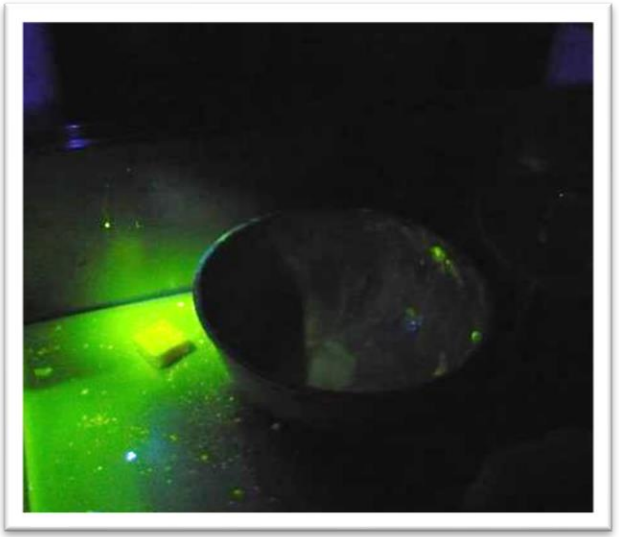
■食中毒予防　（調理室での洗浄時の鶏肉ドリップ汚染）

ボールに模擬物（鶏肉ドリップを想定）
を塗り、洗浄作業をする



→

ブラックライトで蛇口やシンクの側面、
スポンジ、エプロンなどへの模擬物の
飛散や残り具合を確認



その他、ベッド上・机上での処置
■創部洗浄
■オムツ交換
■吸引処置

（周囲やリネン、廃棄用の
ビニール袋表面の汚染は無いかなど）